

需給ひっ迫検証に向けた業界向けアンケート

先月6月26日～30日の、東京電力管内における電力需給ひっ迫に際しては、皆様に多大なる節電のご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

経済産業省では、今年3月の電力需給ひっ迫の検証を受け、電力需給ひっ迫注意報の新設など、対応策を見直しておりましたが、実運用上の課題を検証し、更なる改善へと取り組んでまいります。つきましては、検証や今後の施策の参考とさせていただきたく、情報伝達体制や節電対応の個別事例を把握することを目的として、東京電力管内に事業所や店舗がある方を対象に、アンケートを実施いたしますので、ご協力をいただけますと幸いです。

※ご回答いただいた内容は、個社情報がわからない形で審議会資料として使わせていただく可能性があります。

また、特徴的な節電対策の取組について個別にヒアリングをお願いする場合がございます。

<参考>6月30日の電力・ガス基本政策小委員会において、電力需給ひっ迫に係る実運用上の対応を議論

https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku_gas/denryoku_gas/pdf/051_03_01.pdf

回答〆切り：2022年7月13日（水）18：00

- 業種【必須】
- 企業・団体名、担当者氏名、担当者連絡先

<1. 情報の取得について>

1. 6月26日～30日において、東京電力パワーグリッドまたは契約している小売電気事業者から、個別に節電の依頼はありましたか。【必須】

はい いいえ

1-1. (1. 「はい」を選択) 初めてその依頼があったタイミングはいつ頃ですか。

6月26日以前 6月27日午前中

6月27日午後 6月28日以降

2. 都道府県や市町村、商工団体、業界団体等から節電の依頼や周知はありましたか。【必須】

はい いいえ

2-1. (2. 「はい」を選択) 初めてその依頼があったタイミングはいつ頃ですか。

6月26日以前 6月27日午前中

6月27日午後

3. 国から「電力需給ひっ迫注意報」が発令されていることを、6月27日時点で知っていましたか。【必須】

はい いいえ

3-1. (3. 「はい」を選択) 国から「電力需給ひっ迫注意報」が発令されていることを認識したタイミングはいつ頃ですか。

6月26日以前 6月27日午前中

□6月27日午後

□6月28日以降

4. 経済産業省や東京電力パワーグリッドは、以下を通じて電力需給状況に関する情報を発信しておりましたが、ご覧になったものがあればご回答ください。(複数回答可)

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 東京電力パワーグリッドのHP (でんき予報等) | <input type="checkbox"/> 東京電力パワーグリッドのTwitter |
| <input type="checkbox"/> 電力広域的運営推進機関のHP | <input type="checkbox"/> 電力広域的運営推進機関のTwitter |
| <input type="checkbox"/> 経済産業省のHP | <input type="checkbox"/> 経済産業省のTwitter |
| <input type="checkbox"/> テレビやインターネットのニュース | <input type="checkbox"/> その他 |

4-1. (4. 「その他」を選択) 上記以外で電力需給状況に関する情報を取得された手段についてご回答ください。(自由記述)

<2. 節電について>

1. 電力需給ひっ迫時に最大限の節電行動が取れるように、あらかじめ社内・団体内の連絡体制は整備されていきましたか。【必須】

- はい いいえ

1-1. (1. 「はい」を選択) 電力需給ひっ迫時に、事前に確認した連絡体制に基づいて情報を伝達しましたか。【必須】

- はい いいえ

1-1-1. (1-1. 「いいえ」を選択) 差し支えなければ理由の記述をお願いいたします。(自由記述)

1-2. (1. 「いいえ」を選択) 差し支えなければ理由の記述をお願いいたします。(自由記述)

2. 国から節電の依頼が来た場合への、電力需給状況に合わせた節電行動の事前の検討は行われていきましたか。【必須】

- はい いいえ

2-1. (2. 「はい」を選択) 電力需給ひっ迫注意報を受けて、会社又は団体として普段と異なる行動を行いましたか。【必須】

- はい いいえ

2-1-1. (2-1. 「はい」を選択) 具体的にどのような取組を行いましたか。(複数回答可)

- | | | |
|--|--|---|
| <input type="checkbox"/> 節電の呼びかけ | <input type="checkbox"/> 営業・操業を停止または縮小する | <input type="checkbox"/> 不要な照明を消す・間引きする |
| <input type="checkbox"/> ディスプレイの輝度を下げる | <input type="checkbox"/> 使わない機器の主電源を切る | |
| <input type="checkbox"/> エレベーターの一部停止 | <input type="checkbox"/> トイレの保温・温水設定を下げる | <input type="checkbox"/> クールビズの励行 |
| <input type="checkbox"/> 冷房の設定温度を上げる | <input type="checkbox"/> ブラインド等で日射を遮る | <input type="checkbox"/> 窓際等自然採光部分の消灯 |
| <input type="checkbox"/> 自家発電の稼働 | <input type="checkbox"/> その他 | |

2-1-1-1. (2-1-1. 「その他」を選択) 今回の需給ひっ迫を受けた際の節電の取組をご記載ください。(自由記述)

2-1-2. (2-1. 「はい」を選択) 今回の節電の取組により、追加的なコストが生じた場合には、どのようなコストが生じましたか。(自由記述)

2-1-3. (2-1. 「はい」を選択) 節電の依頼を受けて、具体的に節電に取り組んだのはいつですか。(複数選択)

- 6月26日 6月27日 6月28日 6月29日 6月30日

2-1-4. (2-1. 「はい」を選択) 節電の依頼を受けて最も節電に取り組んだ日は、普段の一日の消費電力量に対してどの程度削減しましたか。(推計で可)

0～5% 6～10% 11～15% 16～20% 21～25%

26～30% 31%以上 わからない

2-2. (2. 「いいえ」を選択) 今後、国から節電の依頼が来た場合への事前の備え(計画等)を今後策定する予定はありますか。

はい いいえ

3. 今後、電力需給ひっ迫注意報及び警報が発令された場合、最大限対応可能な節電規模ほどの程度だと考えられますか。(通常の使用電力量に対して削減した電力量の割合) **【必須】**

0～5% 6～10% 11～15% 16～20% 21～25%

26～30% 31%以上 わからない

4. 電力需給ひっ迫時における国の対応について、今後への要望などがあればご記載ください。(自由記述)

5. この夏を通じた継続的な節電について具体的にどのような取組を行っていますか。(複数回答可) **【必須】**

節電の呼びかけ 不要な照明を消す ディスプレイの輝度を下げる

使わない機器の主電源を切る エレベーターの一部停止 トイレの保温・温水設定を下げる クールビズの励行

冷房の設定温度を上げる ブラインド等で日射を遮る 窓際等自然採光部分の消灯

その他

取り組んでいない

5-1. (4. 「その他」を選択) 継続を予定している取組についてご記載ください。(自由記述)

お問い合わせ先

経済産業省 資源エネルギー庁

電力・ガス事業部 電力基盤整備課

TEL : 03-3501-1749 (塩野)